

第3次

大野南公民館振興計画

～ であい ふれあい 学びあい ～

(活動基本計画 令和7～11年度)



相模原市立大野南公民館

目 次

はじめに	1
大野南公民館振興計画の改定にあたって	2
公民館の目的と事業	3
1. 大野南公民館の基本理念	4
2. 大野南公民館の活動基本方針	5
3. 活動基本計画（5年間）	6～8
4. 大野南公民館活動の推進組織	9
5. 大野南公民館振興計画の体系図	10
6. 館長、職員の役割について	11
7. 年間事業計画の策定、振興計画の評価について	11
8. 大野南公民館の組織体制	12
9. 大野南公民館が引き続き取り組む課題について	13～15
①「ボランティア」を増やすには	13
②「広報活動」について	14
③「新たなる公民館」について	15
10. 振興計画策定委員会の検討状況	16～17
(参考資料) 振興計画策定委員会で検討された主なグループワーク	18～23

はじめに

現在の第2次大野南公民館振興計画の期間（平成27年～令和6年）では、地域コミュニティの活性化や生涯学習の推進に向け、地域住民で構成される専門委員会を中心に、小学生を対象とした事業や高齢者向けの学級、子育て世代を対象とした交流事業、若者を中心とした企画事業の展開のほか、運営方法を見直し幅広い世代が参加した体育祭の実施など、さまざまな事業を展開してきました。

このたび、新たに今後の10年間を見据え、地域の声を十分に反映できるよう策定委員会を設置し、合計13回に及び討議を重ね、公民館の今後の役割や地域の課題について多角的に検討し、地域の実情に即した具体的な振興策を盛り込んだ「第3次大野南公民館振興計画」を策定いたしました。

現在、私たちの地域では、**県合同庁舎の改修や新規マンションの建設**など大きな環境の変化が進んでおり、**今後は区役所・公民館の改修、中央公園の整備等**、生活環境をより良くするための取組みも計画されています。

一方で、**少子・超高齢化、環境問題、災害等の課題や地域コミュニティの変化や科学技術の進化**など社会情勢や環境が目まぐるしく変化する中、本計画では、**現行の施策の継続・発展に加え、地域社会の変化を踏まえた新たな取組み**を行ってまいります。

1. 社会情勢の変化への対応

- 災害対応や防災拠点としての役割の強化。
- 広報（周知方法）の検討と実施。

2. 今後の公民館のあり方

- 地域住民の交流・学習の場としての役割の再定義。
- 多世代交流や地域活性化につながる事業の検討。
- 地域の声を反映した公民館改修への取組み
- 持続可能な運営体制の構築（財源確保・人材育成・ボランティアなど）。

今後も、地域の皆さまの声を大切にしながら、公民館の運営を進めてまいります。本計画が、地域の発展とともに、公民館がさらに愛され、活用される場となるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大野南公民館長 島田 欣一

大野南公民館振興計画の改定にあたって

相模原市の公民館は戦後まもなく施行された社会教育法 22 条を基に国が進めた「公民館」の中に、本市においては「地域づくりの拠点」を目指しながら、昭和 24 年からその役割を忠実に実践しているところです。

大野南公民館においても同様に実践しているところでありますが、開館から 75 年が経過し、戦後間もない頃に比較し、多様な考えを持った市民の増加、多様な文化・スポーツ活動の発展や市の社会課題や生活課題への取り組みとして、子育て支援や高齢者支援の充実、さらには、人権への取り組みなど大きく状況は変化しています。

その中において、「大野南公民館」として、地域住民が期待する生活課題や社会課題に貢献する中、地域住民のであい・ふれあいの場を目指した事業展開を基本として事業を進めており、今後も肝要と考え、今回の振興計画の策定委員会では「より現在の事業をより良くする視点をもって、今回の振興計画を策定するため、委員の皆さんに議論していただきました。

また、本市の多くの公民館でも課題となっている担い手である「ボランティアの減少」や地域住民への「広報活動」についても策定委員会で検討していただきましたが、「決め手」はなかなか見つかりませんでした。ひとつでも少しでも前に進めるとともに、引き続き様々な場面で検討していただく予定です。

さらには、大野南公民館では今後、南区合同庁舎の長寿命化計画の中に組み込まれる可能性が高く事業への影響、公民館の建物についても再編が課題となることが考えられるため、議論していただき、長寿命化計画を睨んだ基本的な考え方を追記いたしました。

最後になりましたが、13 回の振興計画策定委員会には延べ 250 名以上の方が参加し、意見を述べ合い、議論が行われました。その方々の熱い心がこの振興計画には詰まっています。また、その熱き心が今後の事業展開の礎となるものと確信しております。

振興計画策定委員会に参加した皆様 誠にありがとうございました。

また、「今後とも皆さんの大野南公民館の応援よろしく申し上げます！！」

大野南公民館 主事 伊藤裕通

公民館の目的と事業

公民館は公共の教育機関であり、社会教育法（以下、「法」という。）の第5章「公民館」に規定されています。そして、実施する事業の目的は、法第20条に以下のように規定されています。

第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

また、この目的を達成するために行う事業については、法第22条に規定されています。

第22条 公民館は、第20条の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によって禁じられたものは、この限りではない。

- 一 定期講座を開設すること。
- 二 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 三 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 四 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 五 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 六 その施設の住民の集会その他の公共目的に供すること。

以上のように公民館は法によって、しっかり守られているのです。

1. 大野南公民館の基本理念

今後の大野南公民館のあるべき姿を描き、その達成に向けて今後歩んでゆく道しるべとして、地域住民との連携のもとに大野南地区のますますの発展を目指して、大野南公民館の基本理念を次のように定めます。

わたしたちは、**であい・ふれあいを通して**
地域の交流を進めます

大野南公民館は昭和25年の創立以来、さまざまな事業やサークル文化活動などを通じて地域の方々の交流に大きな役割を果たしてきています。学校や自治会、子ども会などの縦割りの関係を横につなぐことができるのは公民館であり、乳幼児や青少年、成人、高齢者世代など世代交流を促進できるのも公民館の大きな特徴です。

そして、今後一層拡大する核家族化、一人暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦世帯の増加などが見込まれる中で、全ての人々がいつでも気軽に集うことができる交流拠点の役割が期待されています。

そこで、大野南公民館が、豊かな人間関係をつくるために、であい・ふれあいを通じた仲間づくりを促進し、地域住民の交流を進め、連携を深めることを第一の基本理念とします。

わたしたちは、**主体的に学びあい、ともに育ち、**
自らを高め、地域社会に貢献します

公民館は、地域住民の学習活動に資するよう、多様な学習機会の提供に努めてきました。そのような中で、公民館は身近な地域や生活課題の解決に貢献してきており、同時に、自己研鑽・自己実現の場となってきました。

そして、今後も幅広く学習の機会を提供し、地域課題や生活課題等の解決をめざした学習活動を行い、結果として、地域の人材の育成、ひいては一人ひとりが主体となって活躍できる場としての役割が期待されています。

そこで、大野南公民館が中核となって、課題の解決のために、学びを支援し、地域住民相互で教えあい学びあうことによって、よりよい地域づくりに貢献することを第二の基本理念とします。

わたしたちは、**くらしの文化を大切にするとともに、**
心と体の健康づくりを目指します

個と個のつながりが薄れ、地域の情報が伝わりにくくなっている中で、大野南公民館は、くらしの知恵、家庭の味、子育て情報、地域の歴史や文化など、地域社会の一員として大切な生活上の事柄について学び伝承する場となってきました。

そして、日々の生活を心豊かに送るための基本となる、心と体の健康に対する人々の意識もますます高まっています。そこで、大野南公民館が心豊かな生活作りのための情報収集発信の拠点となり、大切なくらしの文化を次世代に伝えるとともに、地域住民の心身の健康づくりを支援することによって、潤いのあるまちづくりに貢献することを第三の基本理念とします。

2. 大野南公民館の活動基本方針

3つの基本理念を実現し、公民館活動として具体化するための活動基本方針を、それぞれの理念ごとに次のように定めます。

(1) 理念1「わたしたちは、であい・ふれあいを通して、地域の交流を進めます」を具体化するための活動基本方針

- ① 地域の人たちとのであいを大切に、ふれあいを通して豊かな人間関係を作り、地域の連携を深めるための機会の提供に努めます。
- ② 地域の人たちが交流を図るために、世代間交流や国際交流の場の提供に努めます。
- ③ 地域の人たちが親しくなるために、趣味や運動、親子のふれあいなど、楽しみを通して、仲間作りの場の提供と、だれでも気軽に集える居場所作りに努めます。

(2) 理念2「わたしたちは、主体的に学びあい、ともに育ち、自らを高め、地域社会に貢献します」を具体化するための活動基本方針

- ① 主体的な学びを積極的に支援し、教えあい学びあうことによって、生活課題の解決に努めます。
- ② 一人ひとりが主役になって活躍できる場を提供し、地域の人材の育成に努めます。
- ③ 青少年が主体となって学びあい、ともに育つ場を提供します。
- ④ 教育機関等との連携を図り、幅広く学習の機会を提供するなど、地域の身近な諸問題を解決するために学びあう機会を作ります。

(3) 理念3「わたしたちは、くらしの文化を大切にするとともに、心と体の健康づくりを目指します」を具体化するための活動基本方針

- ① くらしの知恵、地域の歴史と文化などを伝えていくことによって、心豊かな暮らしのための文化の形成に努めます。
- ② 子育て世代の学習機会を提供し、心豊かな家庭・家族関係づくりへの支援を行います。
- ③ 体の健康づくりに対する意識の向上に努めるとともに、スポーツや運動の機会を提供し、地域のひとたちの健康づくりの支援に努めます。
- ④ 心の健康を保てるような機会を提供し、誰もがいきいきと暮らすための支援を行います。

3. 活動基本計画（5年間）

3つの基本理念を実現するために、活動基本方針を踏まえたうえで、各事業については次の活動基本計画に基づいて進めていくものとします。

① 各種学級・講座（実行委員会形式で開催する事業）

事業活動	理念	事業年度					課題	対策
		7	8	9	10	11		
ふれあい学級	1・2	➡					参加数の減少	広報活動の充実
成人学級	1・2	➡					内容が幅広く、中身の濃い内容であるため、焦点が絞れきれずに受講者が集まりにくかった	テーマを絞って、誰もが参加しやすい工夫を行う
子育てを楽しむ講座	1・3	➡					受講者が後輩ママのために、次年度以降に保育委員として貢献する形が望ましい	
若者講座	1・2	➡					テーマの抽出と参加者への周知方法が難しい。毎年参加者が少ない	中学生から30代が参加しやすいテーマの検討とSNS等を活用する

② 文化家庭事業（文化家庭委員会が中心になって開催する事業）

事業活動	理念	事業年度					課題	対策
		7	8	9	10	11		
文化講座	1・2 3	➡					テーマの抽出と講師の選定が難しい	国際交流・古典芸能鑑賞・園芸講座・絵画教室など、若い人に公民館を知ってもらおうきっかけとしたい
相模原を知る講座	2	➡					相模大野については過去にやってきたが、相模原全体も必要	地域のことを知ることは大切

③ 健康体育事業（健康体育委員会が中心になって開催する事業）

事業活動	理念	事業年度					課題	対策
		7	8	9	10	11		
大野南体育祭	1・3	→					自治会の参加が減少している	自由参加種目を増やす
さわやかウォーク	1・3	→					行き先を検討する	春と秋に実施
市民健康まつり	1・3	→					参加者が少ない	実施内容と周知方法を検討

④ 青少年事業（青少年委員会が中心になって開催する事業）

事業活動	理念	事業年度					課題	対策
		7	8	9	10	11		
おもしろ科学教室	2	→					中学1年生も参加対象としたい	科学熱が高まっているので継続すべき
こども料理教室	2	→					アレルギー対応が必要	アレルギー調査を実施する
夏休み工作教室	2	→					公民館に設備がない	毎年、製作物を変えているので良い
七夕お楽しみ会	2	→					工夫の余地がある	公民館の独自性を出す
クリスマスお楽しみ会	2	→					子ども会等どこでもやっている	内容を工夫して検討する

⑤ 共催事業・その他

事業活動	理念	事業年度					課題	対策
		7	8	9	10	11		
公民館まつり	1	→					自主的に作り上げるまつりにしていく。より多くの団体の参加・来場者の増加を望む	
クラシックコンサート	1	→					ピアノ中心のコンサートが続いている。他のクラシックの開拓が必要	
サタデーキッズルーム	1	→					協力団体が固定化しており新規の団体が入ってこない	新設の団体に声をかける
親子・孫で楽しむ科学 大道仮説実験	1・2	→					親子だけではなく、3世代での参加を促したい	

事業活動	理念	事業年度					課題	
		7	8	9	10	11		
常設展示	1	➡					展示をする団体が同じで少ない	館報などで地域の人に周知する

⑥ 保育事業

事業活動	理念	事業年度					課題	対策
		7	8	9	10	11		
公民館事業への協力	1	➡					保育委員の確保。数年経験者は青少年委員会委員への移行	子育てを楽しむ講座の受講生に声掛け

基本理念

- 1…であい・ふれあいを通して、地域の交流を進めます。
- 2…主体的に学びあい、ともに育ち、自らを高め、地域社会に貢献します。
- 3…くらしの文化を大切にするとともに、心と体の健康づくりを目指します。

4. 大野南公民館活動の推進組織

大野南公民館の基本理念を実現し、活動方針を具体化し、活動基本計画を実行するための推進組織を次のように定めます。

(1) 文化家庭委員会

- 文化事業と家庭事業を中心とした事業を企画立案し実施していきます。
- 準備委員会形式で行う各講座については、準備委員会の自主性を大切にし、事業のプログラム等は準備委員会で企画立案し実施していきます。
- 事業の必要性の検討や各事業の実施時期の調整、新規事業の企画立案し実施していきます。
- 各種事業で主体的に公民館活動に関わっているメンバーで委員会を構成していきます。また、広く地域の人材を求めるために委員の公募も実施していきます。

(2) 健康体育委員会

- 健康体育事業を中心とした事業を企画立案し実施していきます。
- 事業全体の企画立案については健康体育委員会全体で検討し決定していきます。
- 健康体育委員会構成メンバーは、スポーツ推進委員、健康づくり普及員、体育サークルの方、公募委員等とします。

(3) 青少年委員会

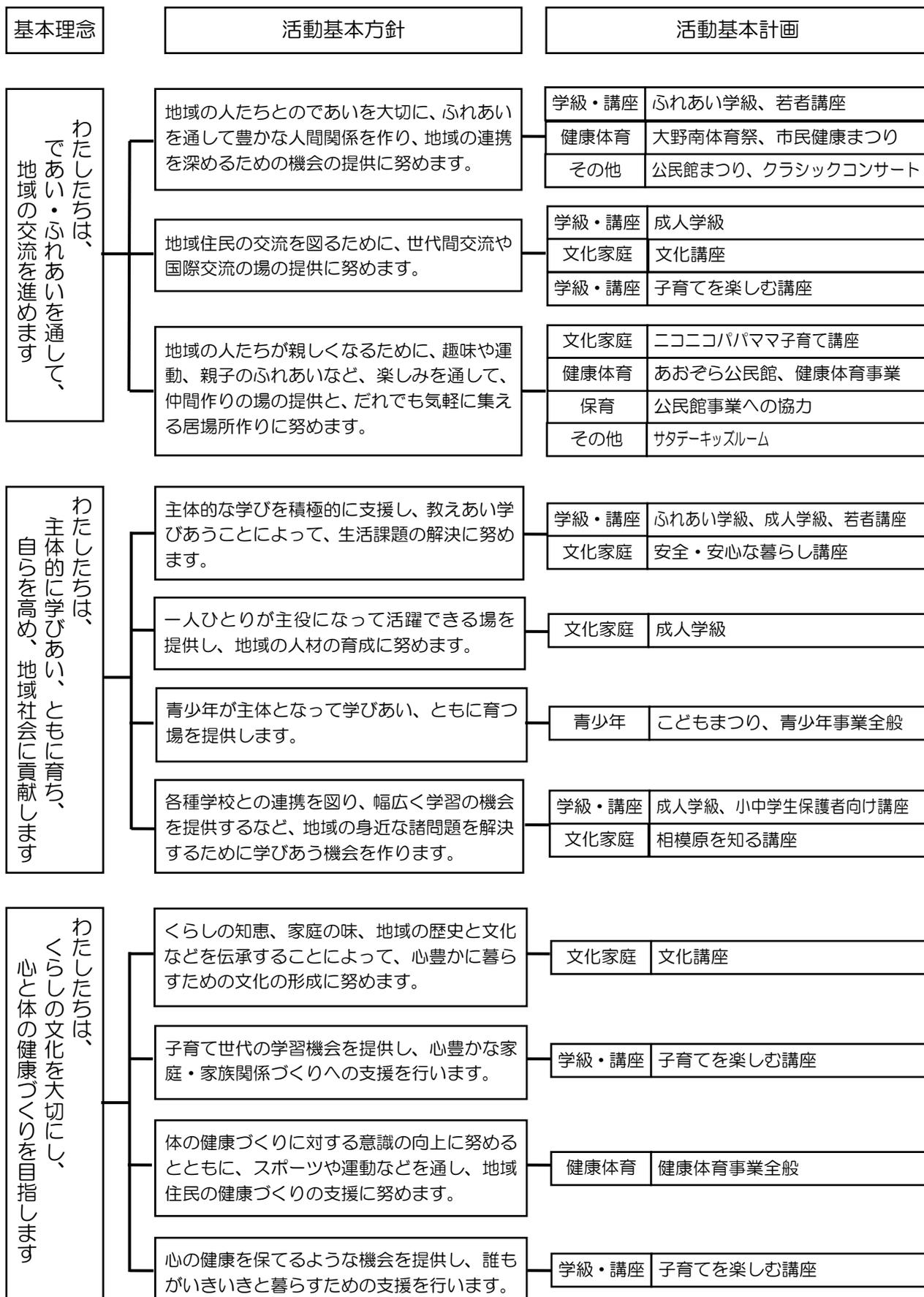
- 青少年事業を中心とした事業を企画立案し実施していきます。
- 大野南子どもクラブ等他の組織との連携や、主体的な活動のあり方などについては青少年委員会の中で話し合っていきます。
- 青少年委員会構成メンバーは、青少年指導委員、公募委員等とします。

(4) 保育委員会

- 地域の子育て支援を目的として、地域の子育て中の保護者が公民館事業に参加し、公民館の部屋を利用して活動ができるように、公民館保育を実施します。
- 市民健康まつりや大野南体育祭の実行委員会、公民館まつりへの参加など、積極的に公民館事業に協力していきます。
- 保育委員会は、保育士や子育ての経験がある方で、公民館活動に理解のある方で構成します。必要に応じて公募します。

」

5. 大野南公民館振興計画の体系図



6. 館長、職員の役割について

(1) 館長の役割について

館長は、振興計画の実現にあたり、公民館事業全般の助言を行うと同時に、運営協議会を統括する。

(2) 館長代理の役割について

館長代理は、振興計画の実現にあたり、公民館事業全般の指揮・監督を行う。

(3) 職員の役割について

職員は振興計画の実現にあたり、各専門委員会を担当し、専門委員会の開催、会議通知の送付、会議資料の作成、会議報告書の作成を行うほか、事業の企画立案実施にあたり、相談、助言、調整等を行う。

7. 年間事業計画の策定、振興計画の評価・変更・見直しについて

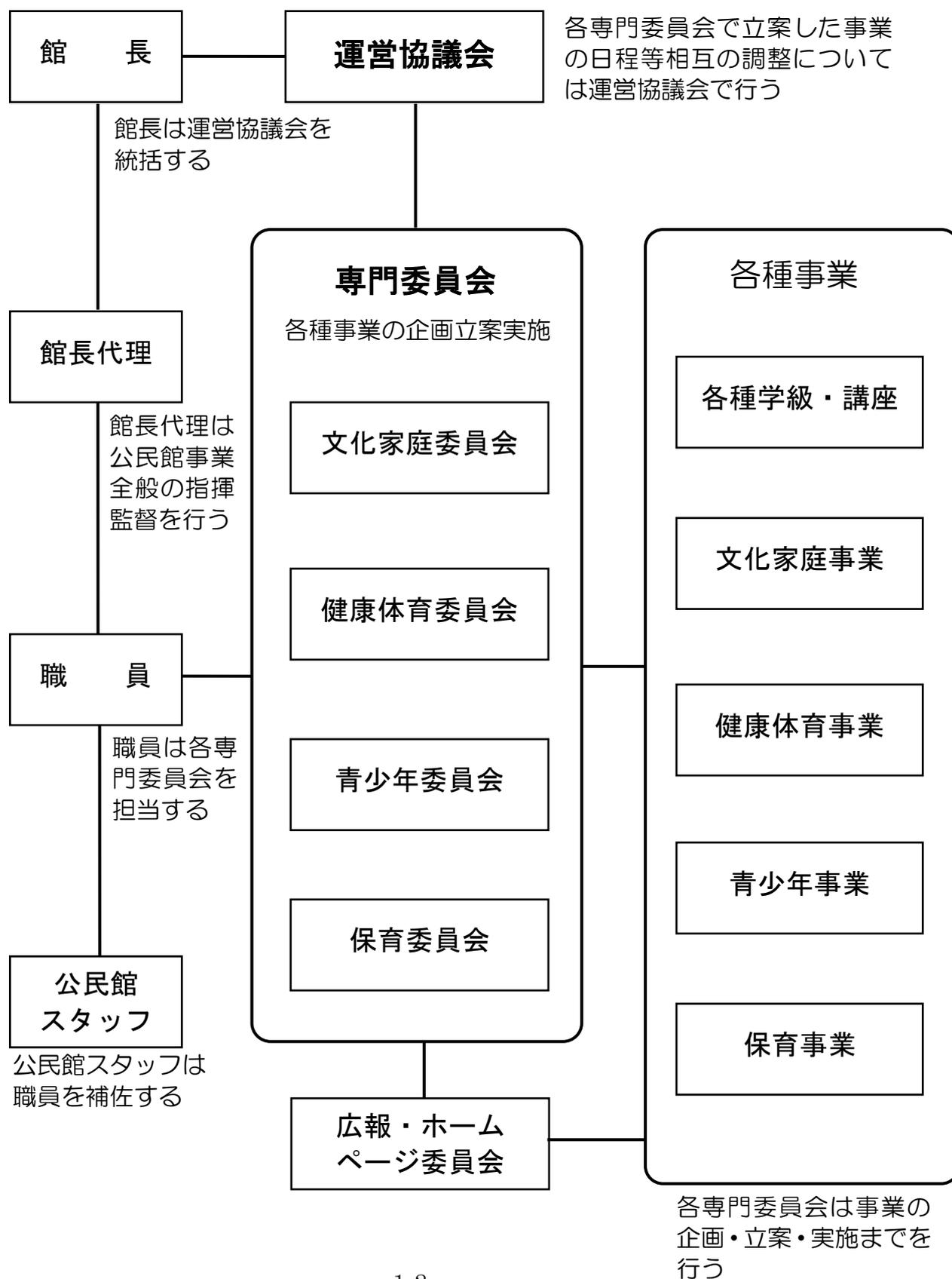
(1) 年間事業計画の策定について

公民館活動推進のための年間事業計画については、「振興計画の理念、基本方針」を踏まえ、「地域の変化に対して必要な公民館活動」及び「地域住民の期待に応えるための公民館活動のありかた」を参考に勘案し、「活動基本計画」を尊重しながら、毎年1月以降に各専門委員会で立案し、3月の運営協議会で調整のうえ策定していくこととします。

(2) 振興計画の評価・変更・見直しについて

振興計画の進捗状況の確認及び評価・変更・見直し等については、定期的に専門委員会及び評価委員会、運営協議会にて協議し検討していくこととします。

8. 大野南公民館組織体制



9. 大野南公民館が充実していく上で、引き続き取組む課題

①～③について、今回の振興計画策定委員会の中で、検討しました。絶対的解決策は見出せませんでした。公民館全体で多くの方が引き続き考え、ひとつでも取り組み、実施することが今後の公民館の発展に必要と考えるところです。

①<ボランティアを増やすには>

分類	提案・意見等
勧誘、 募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報戦略の一環としてボランティア募集方法を考える。 EX:HR QRコードから誘導 ・ ボランティアに参加したくなる”チラシ”の作成 ・ 様々な行事の都度 ボランティア募集のチラシを渡す ・ 事業毎に単発でボランティア募集するのではなく、年間を通してボランティア登録してもらおう。(参加は自らの都合でOK) ・ お試し期間を設定する ・ ボランティアの実施内容を知ってもらい、参加のハードルを下げる工夫 ・ 成人学級など受講生に声をかける ・ 社協のようにボランティア講座を開く。(福祉よりハードルは低いはず) ・ 学校(小学校PTA 高等学校)との協力 ・ 体に自信がある方は、特にスポーツ青少年のお手伝いが良いのでは ・ イベントがある時は近隣の学生中高校生等に参加して頂くとか
周知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周知されていない→広報の工夫 ・ 公民館をより良く知ってもらおう ・ 新しく移り住んだ方は事業を行っている筈を知らない
交流他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校 各校長と交流を深め、情報を得る ・ 老人の力を増やそう。(老人も役に立つよ！)

②<広報活動について>

分類	提案・意見等
館報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報する内容を工夫する。EX:アンケート結果・キーワードのピックアップ ・ 住民のニーズが変化しており、ニーズにマッチした広報の方向性を考える ・ 項目別にして（歴史、地域、育児など）公民館だけのリーフレットを作成（館報とは別） ・ 館報が読みづらい、字ばかりで見づらい ・ 公民館がつまらない！？ 興味があるような広報にしてほしい ・ もう少し素通りされない様に工夫してほしい ・ インパクトのある広報誌にしてほしい。 ・ 黒い地（紙）に白い文字にするとか・ ・ はっと目につく文字を使う ・ 広報対象地区（場所）を増やす EX:市役所・南保険福祉センター ・ 館報の配布場所（エリア）の拡大 ・ 人の目に触れる、手にとって見てもらう ・ 活動に協力してくれる他団体との協業 ・ 館報を読む人が減少（自治会未加入）、自治会加入率減少に対応→全戸配布 ・ 大きな病院に配架 ・ 回覧でなく、手渡して （難しいと思うが）
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページのリニューアル スマホ対応、使われている言葉が固い ・ ホームページのデザインが古い（ホームページを作成できる人がいない） ・ ホームページの存在を自治会掲示板等で知らせる。 ・ 媒介を工夫する。ホームページ（PC）を見る人が少ない携帯、タブレット ・ ホームページが使いづらい Web に予算を付けてほしい ・ サイト（HP）の更新頻度 Xの更新
事業情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語のチラシを作る ・ 2次元コードを付けて、スマホで内容を知れる様にする。 電子媒介のチラシの作成 ・ QRコードからHPに誘導する ・ 自治会掲示板にHPのQRコード添付 ・ ポスターを大きく
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所の垂れ幕の活用 ・ 口コミ イモする式に！ ・ 大野南情報（地域情報誌）のカラー化3色とか完全カラーでなくともOK ・ 大野南情報（地域情報誌）の大野南公民館の横にTELを載せる。

③<新たなる公民館>

分類	提案・意見等
<p>どのような部屋が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の部屋数・面積は確保 ・公民館として独立したゾーニング（入口が別にある、人の動線が分けられる） ・受付は1階 ・様々な人達が自由に利用できるフリースペース、コミュニティスペース ・災害（風水害）時の避難施設の充実 ・多目的利用できる部屋、ホール ・バリアフリー ・運動が出来る部屋（シャワー室） ・音響設備の充実 ・IT 関連設備（プロジェクター内臓会議室等） ・トイレを綺麗にする（市一番のトイレ） ・広い談話室 ・防音室 ・バスケット、バレーボール等が行える天井が高く広い部屋 ・収容人員の増加を見込んで部屋の広さを拡大する ・小ホール的なもの、多目的ホールとして200席位の会議室 ・可動式（椅子）のホールが欲しい ・茶室は残してほしい ・赤ちゃんスペースの充実 ・親子で利用できる図書室 ・駐車場利用は無料に
<p>工事中の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中でも休館にしない建設計画 ・工事中の利用について方針を早く示してほしい ・工事中は代替駐車場を用意する ・閉館中の市民活動の場所をきちんと確保してほしい ・工事中使えなくなれば今あるサークルはなくなる恐れあり
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の施設の視察・見学したい、他市の評判の良い例を参考に ・指定管理による運営はしない ・利用率も高く、市でも代表的な公民館としての役割がある ・多言語で示すことを考慮してはどうか ・相模大野駅からの道に公民館への道案内を設置

振興計画検会の検討状況

	実施日	テーマ	内容	方法
1	1/13	「理想の公民館」は？	みんなが目指すべき理想の公民館を検討。	GW
2	2/10	①社会教育法に基づく公民館相模原の公民館の役割 ②公民館振興計画の役割	社会教育法に求められる公民館の役割 相模原市が考える公民館の役割 振興計画策定の(役割「基本理念」、「活動方針」、「活動基本計画」、「計画を具現化する事業」の関連)を学習。 講師 島田 欣一さん	講義
3	3/3	「公民館と私」	「長年の公民館活動を振り返りながら」 ～今後の公民館への期待をお話します～ 今までの公民館活動から公民館の役割、必要性及び重要性を踏まえ、公民館に期待するものを学習。 講師 中村 洋子さん	講義
4	4/13	①10年後の地域社会を想像 ②どんな事業が必要	今後10年間でイメージし、必要な事業を考えました。	GW
5	5/11	各世代に必要な事業と目的を検討	各世代毎に、かつ具体的に必要な「事業」と「目的」を考えました。	GW
6	6/8	活動基本計画、活動方針、基本理念、振興計画体系図を確認 現在実施されている事業について「より良くするには」を検討 ①「公民館まつり」 ②「体育祭」	現在実施されている事業について「より良くするには」を考えました。 第1回目は「公民館まつり」、「体育祭」	GW
7	7/13	現在実施されている事業について「より良くするには」を検討 ①健康まつり ②ふれあい ③成人学級	前回は、引き続き検討 「健康まつり」、「ふれあい」、「成人学級」	GW
8	9/14	現在実施されている事業に「より良くするには」を検討 ①「子育てを楽しむ講座」 ②「子どもまつり」 ③「若者講座」	前回は、引き続き検討 「子育てを楽しむ講座」、「子どもまつり」、「若者講座」	GW
9	10/12	現在実施されている事業に「より良くするには」を検討 ①健康体育委員会事業 ②青少年委員会事業	前回は、引き続き検討 「健康体育委員会事業」、「青少年委員会事業」	GW
10	11/9	現在実施されている事業に「より良くするには」を検討 文化家庭委員会事業 事業課題ではないが、公民館運営で必要な課題を検討 ①「広報活動」、「周知方法」 ②ボランティアを増やすには	前回は、引き続き検討 「文化家庭委員会事業」 事業課題ではないが、公民館運営で必要な課題を検討 「広報活動」、「周知方法」、「ボランティアを増やすには」	GW

		テーマ	概要	方法
11	12/14	「大野南公民館の今後」 (新たな公民館)を検討 及び「公民館の基本理 念」を検討	市の長寿命化改修計画に基づき、南 区合同庁舎も大規模改修が行われる 予定であり、南市民ホールの閉館も あることも含めて、大野南公民館も 大幅な改修がこの10年間では見込 まれるため、現時点で考えられる改 修に伴う公民館として基本的な考え を検討した。 また、「基本理念」を再確認。	GW
12	1/25	「公民館の基本理念」を検討 「公民館の活動基本方針」	「基本理念」を言葉が「わかりづらい 部分」を一部修正 「活動基本方針」を検討する	GW
13	2/8	「公民館の活動基本方 針」を検討 共催のルール化	「基本理念」を言葉が「わかりづらい 部分」を一部修正 共催があるものの「ルール化」がされ ておらず、今後1年間で検討を行う	GW

(参考資料) 主なグループワーク

①<大野南公民館に良い点・悪い点・理想>

分類	提案・意見等
良い点	<ul style="list-style-type: none"> • いつでも利用できること • 年齢を問わずチームになれること • 老若男女を問わず利用できること • 夜遅くまで利用できること • 楽しい行事が多いので参加しやすい • 色々な行事を実施し、参加者が楽しんでいる。 • 多くのことが学べるサークルがある • 部屋が自由に借りて活動ができる • 認知されれば楽しい場所 • 土日開館しているところ • 所属サークル等を通して気軽に利用できる • 料理ができる部屋がある • 色々な講座くまれているととてもよい • 気軽に利用でき、友達ができる • 大人から子どもまでいろいろなイベントに参加できる • 気軽に立ち寄れる • 仲間に出会える • 人と人とのつながり • 避難場所 • 近くに公民館があるとなぜか安心 • 興味のあることがみつかる • 自分たちの活動場所と使える • 誰でも歓迎してくれる、誰でもOK • 身近で健康づくりができる <ul style="list-style-type: none"> • 駅から近い、交通の便がよい • 利用しやすい • 事業がたくさんある(子育て青少年文化家庭) • 自由意見を言え、公民館にきいてもらえる • 職員明るい • あたたかい雰囲気 • 館長さんの対応がよい • 仲間が増える • 知らないと一緒に何かすると仲良くなる • 帰るときみんな笑顔サークルの人も事業に参加した人も • 人と人をつなげる • 地域のみなさんが参加しながら運営されている • 地域をみなさんの活動の場を提供 • 子育て中にホットした地域が受け入れてくれた • 誰でも来て仲間になれる。受け留めてくれる • 地域の皆さんとのふれあい • 人と出会えるところ • ゆるいところ • 初めましての人とあえる • 話を聞いてくれるところ • 今実感できる • 身近で健康づくりができる • 公民館の職員が良い感じがいいと思います • 仲間づくりができる • 世代関係なく触れ合える

分類	提案・意見等
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> • サークルが場所を取るのが難しい。 • 何故か暗い感じがする • 堅ぐるしいイメージあり • 公民館という呼び方が古い • 食事不可 • 子供が自由に使える部屋なし。 • 使う人が限られている。」 • 昨年と同じ • 大野南場所がわかりづらい • 知らない人も多い • 公民館でやっていることが知られてない • 悪い所、特になし。 • 驚くほど存在を知られていない • 地域連携がよくない • 大野南建物がわかりづらい • 利用者偏っている • 個人として参加するには情報が少ない気がする • 公民館が何をしているかわからない • 多くのサークルがあり、部屋がとりにくい • どこからどこまで公民館かわからない。 • 有料であるのが残念です <ul style="list-style-type: none"> • サロンのなスペースが少ない • 地区住民に対する情報が徹底しない。 • 自治会以外の広報がない • 商店街でもタクシーの運転手も大野南公民館の存在を知らない。 • 場所を知らない人がいます。 • そとから見て公民館がわかりにくい • 周知が不十分 • 地域全体にまだ活動が知られていない。 • 公民館の場所内容が周知されない。 • 一階のところが暗い • 時間を守りすぎ、昼時間受け付けて • 行政的発想 • 事業の固定化 • 一歩入りづらい • 使い方の手続きが大変 • パソコンなどのIT関連の勉強する機会がない。 • 個人として参加するには情報が「まだ少ない気がする • 若干閉鎖的 • 何となく入りづらい

分類	提案・意見等
理想の公民館	<ul style="list-style-type: none"> • 皆が楽しく参加され一緒に行動する • 楽しく参画できる地域の場 • いつでもどこでも地域の皆さんとふれあえるように • 色々な世代が参加できるフリースペース • 立場の弱い方によりそえる事業ができるそんな方が気軽にふれる • もっと広報を知ってほしい • 〇〇したいがあふれる公民館 • 公民館であった人がまちであいさつできる関係 • 都内に通勤している人が来やすいところ • 若い人がどんどん来て意見を言ってもらえる • 特に用事がなくても来れる場所に気軽に利用できる • 多勢の人が参加したくなる企画 • 体育・文化施設が充実している <ul style="list-style-type: none"> • 民間とのコラボ[文書の重要な部分を引用 • シニアパワー • 気軽につどえる場 • フリーな人材確保して派遣する • 管理的でない。 • カフェ的 • 雑多なところ • ステップアップできる • 少数意見、少数者を大事 • 人生がずっと公民館が学べる • 申し込まなくても空いたら貸してもらいたい • 活用価値に気付いてもらいたい。 • 我が家の利用できること • 気軽に公民館立ち寄れる • 今日はどんな事をやってるかな。 • 誰も気軽に出入りできる • 自由なスペース • 楽しい場所

②<10年後の地域社会を想像してみましよう>

分類	どんな社会
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者が増加 ・高齢者が増える
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族の解消 ・コミュニティは大事 ・縁側・井戸端会議の復活 ・コミュニティ→情報を得る
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・電子機器の活用能力の向上（スマホ・電子マネー等）→電子化 ・高齢者にスマホを使えるように情報を
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションのスラム化 ・空き家はなくなっている ・空き地が増える ・車は自動運転、誰でも乗れるのか？
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・未婚の人が多い（少子化） ・子どもが少ない
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の役割・組織を周知できるシステム作り ・若い人が気軽に利用できる環境作り ・男性の高齢者が気軽に利用できる環境作り ・高齢者でも気軽に参加可能なサークルは？ ・三世代交流、遊び、工作 ・地域の方が講師に！自分の得意の事！
地域の今後	<ul style="list-style-type: none"> ・個人店頑張れ ・公共施設のSDGs化が進む ・新庁舎も新しく建て替えられている（希望） ・コリドー通りの道路がきれいになっている ・相模女子大が共学になる ・タワーマンションが完成後人口が増え、活気がある街 ・新しく住む方の増加 ・学童との交流、じいじ・ばあばと遊ぶ ・若い人もお年寄りも孤独・孤立化が進む ・世代交代 ・元気なお年寄りが増える ・外国にルーツを持つ方の増加 ・外国人の交流、外国人の入りやすいサークル ・個性がなくなる ・日本全体よりはましだと思いが民度が下がる

③<この10年間に必要な事業>

分類	どんな事業が必要になりますか
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者学級 ・ 高齢者を対象にした IT 関連の勉強会 ・ シニアスマホ講座 ・ 詐欺に会いやすいので講演会 ・ 高齢者の為の連動、ちょっとした生活（元気で良い）のはなし ・ 健康教室（中高年）、軽い運動やおはなし会 ・ 高齢者向け交流事業
成人、 成年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接する公民館等共催事業、地域の歴史等 ・ 外国籍の方々が参加でき、地域の仲間として一緒に活動できる ・ 音楽でコンサートを続けて頂きたい ・ 相模大野（地域）を知る講座 ・ 市民による財政分析講座 ・ 夜間中学と連携した講座 ・ 働き方（勤め人）や学び方（学生・生涯学習）の変化やニーズに応じられる様な活動（多様性の受容） ・ 婚活講座 ・ 30代40代向けの介護福祉講座 ・ お引越5年～10年以内の方を対象とした事業 地域について ・ 若い人参加方イベント 子育て料理学び ・ 社会見学会（バス等利用） ・ 冷蔵庫の中の物で自由にクッキング
青少年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年自然観察事業、スポーツ事業 ・ 中学生メインの事業 ・ 小学生お泊り会 ・ 居場所づくり（たまり場づくり） ・ 親子で参加できる料理教室 ・ 昔遊び体験 ・ 青少年の自立をテーマにした学習 ・ 夜の公民館 肝試し、真っ暗にして楽しむ ・ 子ども〇〇教室 老人と子供との交流 例：囲碁教室 ・ 子どもまつり セタ、クリスマス、正月 ・ 地域のスポーツ少年団と協力した事業（体験会） ・ 体育授業の学校との連携

分類	どんな事業が必要になりますか
子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てを楽しむ講座（働く親） ・スポーツフェスタの開催 ・子育ての役に立つ、地域ぐるみでサポートできる活動コミュニティづくり ・父と子でスポーツ事業 ・子供たちがもっと参加できる会を ・パパとママの子育て講座、子どもと一緒に体を動かす ・子育て情報を共有するための事業
異年齢	<ul style="list-style-type: none"> ・世代をまたぐ相互理解と支え合いや学びが出来る活動（子ども、子育て世代、学生、高齢者、他） ・ファミリーを中心に歌声教室 ・現在の子育ての方法をシニアが学ぶ講座 ・化学教室 大人・子ども ・異年齢交流事業 高齢者と子供で何かやる
異文化	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化交流を盛んにする ・日本の慣習を学ぶ 月別行事 ・外国料理の紹介、試食会 ・女性の労働講座、外国に由来のある人向け ・外国人の方との文化交流 ・大野南（国際交流） 日本語学校、豊町（外国人アパート）、従業員
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館をアピールする講座 ・南区の問題点を話し合う会 ・他施設、機関との連携事業 図書館、ユニコム、女子大 ・公民館をアピールする為、駅前等 ・HP 発信をまめにする ・公民館にきてもらう、知ってもらう、HP、X、館報→ポスティング ・事務所入口、区役所入口にサークルの一覧表（A3）を出す。持ち帰りOK ・青空公民館を実行して理解してもらう ・子ども忙しい、若い世代も忙しい → シニアがターゲット ・運動会 皆が楽しく出来るスポーツ大会 ・市に提案できるような講座 行動に ・他の公民館との交流の活発化 ・家族で楽しむゲーム大会 ・各サークルの発表会 ・環境学習 ・SDGs への参加 ・もしも公民館に避難したら（体験会）

■ 大野南公民館振興計画検討委員会委員（50音順・敬称略）

青山 朋子（職員）	杉野 真由美（前館長代理）
阿久津 明也（運営協議会）	関口 潔（運営協議会）
坏 加代子（青少年委員会）	瀬戸 量平（運営協議会）
朝枝 美恵子（青少年委員会）	芹澤 良治（健康体育委員会）
浅沼 里恵子（成人学級）	竹内 祥子（運営協議会）
阿部 義宏（運営協議会）	竹下 徹郎（館長代理）
荒井 朋子（運営協議会）	竹林 加奈子（職員）
伊藤 明（健康体育委員会）	登坂 和範（運営協議会）
伊藤 時彦（青少年委員会）	富松 和美（運営協議会）
伊藤 裕通（職員）	長池 慶子（運営協議会）
遠藤 豊子（高齢者学級）	中島 千尋（運営協議会）
大場 秀美（保育委員会）	中村 洋子（前館長・運営協議会）
奥田 恵美子（文化家庭委員会）	中山 知子（文化家庭委員会）
片山 昇（健康体育委員会）	成田 睦郎（健康体育委員会）
佳山 清司（健康体育委員会）	廣川 宇窄見（運営協議会）
古谷田作子（運営協議会）	古里 貴士（学識経験者）
斎藤 隆（健康体育委員会）	水野 幸枝（文化家庭委員会）
佐藤 敏子（健康体育委員会）	水野 正人（運営協議会）
里見 やす枝（文化家庭委員会）	三澤 忠雄（公募）
島田 欣一（館長）	安岡 香代（文化家庭委員会）
重田 康之（成人学級）	山田 公德（健康体育委員会）
白倉 健二（健康体育委員会）	吉岡 雄（文化家庭委員会）
杉浦 亜子（成人学級）	
杉山 住子（健康体育委員会）	

第3次 大野南公民館振興計画

～ であい ふれあい 学びあい ～
(活動基本計画 令和7～11年度)

編集・発行 相模原市立大野南公民館
〒252-5277
相模原市南区相模大野5-31-1
電話 042-749-2121
FAX 042-749-4795
ホームページ



<http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kouminkan/onominami-k/>

令和7年3月